

ホームユース用ばら生産のための仕立て方法の検討

1. 試験のねらい

ばらは景気の低迷などから業務需要が減少し、市場価格の低下が続いている。このような中、今後は家庭における切り花の消費（ホームユース）割合が高くなることが予想されるが、家庭需要の場合は業務需要で求められるボリュームは必要なく、短茎（60cm程度）で十分である。そこで、ホームユース規格の切り花の収穫本数増加につながる仕立て方法を明らかにする。

2. 試験方法

(1) 供試品種 レッドスター、ポヌール、イエローベイブ

(2) 仕立て方法

1) アーチング仕立て

平成19年3月28日にロックウールキューブ挿しの挿し木苗を、90×20×10cm（長さ×幅×厚さ）のロックウールマットに株間10cm（9株/マット）の1条植えで定植した。栽植密度は16.7株/3.3㎡とした。苗は、発蕾後に摘蕾を行い、5月28日に株元から折り倒した。6月28日まで、伸長した枝は同様に摘蕾を行い、株元から折り曲げて同化専用枝とした。また、プラスチック枝、及び出荷規格に満たない細い枝は摘蕾後に随時折り曲げた（図 - 1）。

2) 改良レベリング仕立て

5月28日までアーチング仕立てと同様に管理した。それ以降、伸長し発蕾した枝を株元から折り曲げ、株元から30cmの部分が折り曲げ位置より10cmになるように固定し、その先は折り下げた。この30cmの部分を採花母枝とし、1株当たり3本を確保した（図 - 1）。

3) 改良ハイラック仕立て

5月28日までアーチング仕立てと同様に管理した。それ以降、伸長した枝を約30cmの高さで折り曲げて同化専枝とし、折り曲げ部から発生した枝を採花母枝とした。折り曲げ位置から5～10cm程度の高さにある葉腋部を残して収穫を行い、常に同じ位置で繰り返し収穫を行った（図 - 1）。

(3) 調査期間 平成19年4月～平成21年3月

(4) 栽培方法

給液管理は愛知農総試園研ばら処方を用いて行い、ベッド内ECの目標値を4～9月は1.2mS/cm、10～11月、3月は1.5mS/cm、12～2月は1.8mS/cmとしてかん液濃度、かん液回数を調整した。

換気温度は23℃、最低夜温は18℃とした。

3. 試験結果および考察

(1) 切り花長、切り花重は各品種ともアーチング仕立てが最も大きな値となったが、すべての仕立て方で販売に十分な品質の切り花が得られた（表 - 1、2 ポヌール・イエローベイブはデータ省略）。

(2) 3.3㎡当たりの出荷可能本数では、各品種とも改良ハイラック仕立てが最も多くなった。さらに、ホームユース用ばらに適していると考えられる切り花長60cm程度（切り花長50cm以上70cm未満）の出荷可能本数は、改良ハイラック仕立てが最も多くなった（図 - 2）。

4. 成果の要約

ホームユース用ばら（切り花長60cm程度）を生産する仕立て方法は、3.3㎡当たりの出荷可能本数が優れていることから、改良ハイラック仕立てが最も適する。

（担当者 園芸技術部 花き研究室 沼尾貴延）

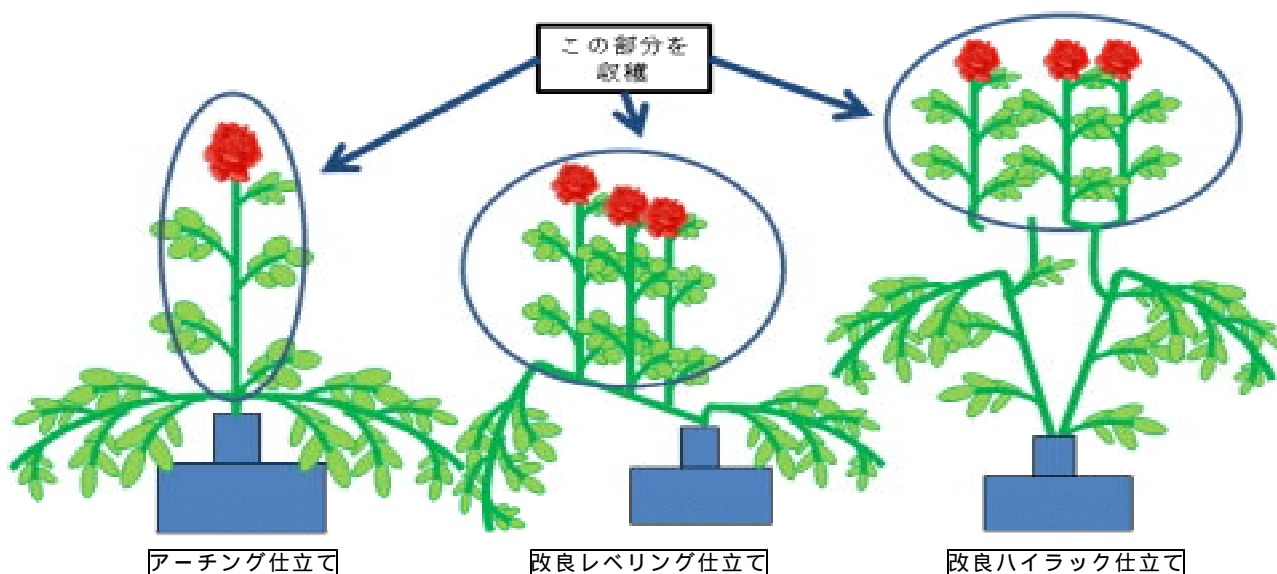


図 - 1 仕立て方の模式図

表 - 1 栽培1年次切り花品質及び出荷可能本数（レッドスター）

	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	節数	茎径 (mm)	60cm調製重 ¹ (g)	出荷可能本数 ² (本/3.3m ²)
アーチング	80.6a ⁴	46.6a	14.7a	6.2a	34.8a	155.9ab
改良レベリング	71.7b	38.7b	13.8b	5.3c	31.8b	128.0b
改良ハイラック	75.4b	43.2ab	13.6b	5.8b	33.8a	200.4a
有意性 ³	*	*	**	**	**	\$

- 注1. 調製重は切り花を長さ60cmに切り、切り口から15cmの下葉、とげを取り除いたもの。
 2. 出荷可能本数は切り花長40cm以上、切り花重15g以上のものを測定した。
 3. **は1%、*は5%、\$は10%で有意差あり。
 4. Duncan法により異符号間で5%水準で有意差あり。
 5. 収穫期間は平成19年7月～平成20年3月。

表 - 2 栽培2年次切り花品質及び出荷可能本数（レッドスター）

	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	節数	茎径 (mm)	60cm調製重 ¹ (g)	出荷可能本数 ² (本/3.3m ²)
アーチング	81.5a ⁴	49.0a	14.7a	6.5a	34.2a	315.4b
改良レベリング	72.5b	38.1b	13.6b	5.6b	30.2b	354.4ab
改良ハイラック	73.0b	37.6b	13.8ab	5.5b	29.7b	463.0a
有意性 ³	*	**	\$	**	**	\$

- 注1. 調製重は切り花を長さ60cmに切り、切り口から15cmの下葉、とげを取り除いたもの。
 2. 出荷可能本数は切り花長40cm以上、切り花重15g以上のものを測定した。
 3. **は1%、*は5%、\$は10%で有意差あり。
 4. Duncan法により異符号間で5%水準で有意差あり。
 5. 収穫期間は平成20年4月～平成21年3月。

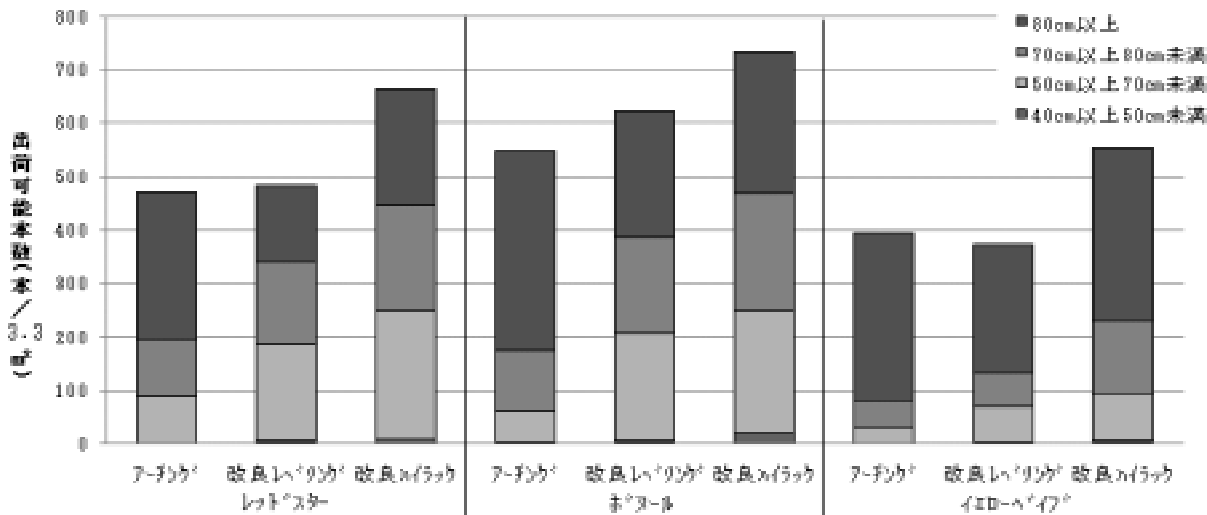


図 - 2 栽培2年間の仕立て方法別出荷可能本数